

大阪港夢洲コンテナターミナル C10,C11,C12

脱炭素化の取組主体	主な取組内容
夢洲コンテナターミナル株式会社 エバーグリーンマリンコーポレーション（台湾） リミテッド	ハイブリッド型RTGの導入
阪神国際港湾(株) 夢洲コンテナターミナル株式会社 大阪港埠頭(株)	コンテナヤード内照明のLED化
阪神国際港湾(株) 夢洲コンテナターミナル株式会社 大阪港埠頭(株)	インバーター制御方式ガントリークレーンの導入
阪神国際港湾(株) 大阪市 夢洲コンテナターミナル株式会社	ゲート前の渋滞、ヤード内の滞留対策の実施 (CONPASの導入)

[ターミナル概要]

大阪港夢洲コンテナターミナルは、岸壁延長1,350m、水深15m～16m、ヤード総面積約739,000㎡を誇る3バース一体運用の高規格ターミナルです。大型コンテナ船の寄港やコンテナ貨物の増加に対応するため、効率化を継続的に進めております。

近年では、持続可能な港湾運営の実現に向けて、RTGのハイブリッド化、構内照明及び建物内のLED化、ゲート前の渋滞、ヤード内の滞留対策など、脱炭素化に積極的に取り組むことで、地域社会と環境への責任を果たすカーボンニュートラルポートとして進化を続けています。



CNP Certification

認証レベル

Level 2 + +

(認証日 令和7年11月5日)

CO₂排出量原単位

—

(算出に必要な一部情報が不足)



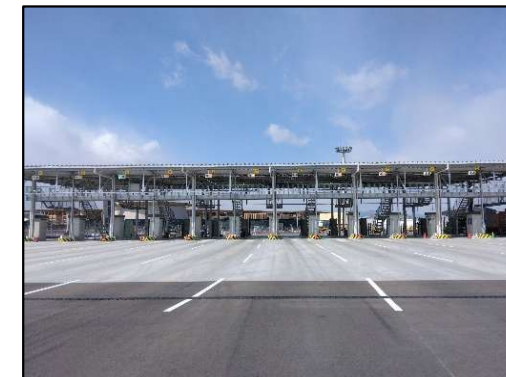
ハイブリッド型RTG



コンテナヤード内
照明塔のLED化



インバーター制御方式による
ガントリークレーン



C12延伸部集中ゲート